

## ビジネスWi-Fiで会社改造(第39回)

# 大規模工場でこそビジネスWi-Fiが生きる

2024.10.08



生産設備が並ぶ工場はオフィスと比較して敷地や建物が大きく、そこで働く多くの従業員に指示を伝達するのも簡単ではない。また、昨今はサプライチェーンの高度化が進み、顧客が直接工場へ進捗(しんちやく)状況を問い合わせるケースもあり、迅速な返答が求められる。こうした状況で効率的かつ正確にニーズに対応した製品を製造するためにビジネスWi-Fiが活用されている。事例を元に、工場にビジネスWi-Fiを導入する際のメリットを考えてみたい。

### カバー範囲の広いビジネスWi-Fiはベストマッチ

全国各地に工場や営業所などを展開する鉄鋼製品の部品製造事業者A社では、広大な工場敷地内で働く従業員とのコミュニケーションを円滑に行うために、長距離通信が可能で、少ない台数で広範囲をカバーできるビジネスWi-Fiを導入し、1万㎡を超える工場全体をカバーする無線ネットワークを構築した。

導入したビジネスWi-Fiは、ルーターがWi-Fi6に対応しており、工場の多くのエリアで速い通信速度を確保できる。電波状況がよければ1Gbpsを超える通信速度を実現しており、障害物がある場所でも2.4GHz帯域の利用により、通信が可能になっている。

同社ではビジネスWi-Fiのメリットを最大限引き出すために、1人1台のタブレット端末を導入し、従業員全員に配布して工場管理室と双方向でリアルタイムに情報共有可能な通信環境を整備した。

工場管理室は、製造設備に組み込んだセンサーの情報や、従業員のタブレット端末の入力情報などから製品の組み立て現場における作業の進捗状況をリアルタイムに把握できる。一方、従業員はタブレットを通じて的確な指示を受けられるようになり、不慣れな作業でも安心して行えるようになった。

その結果、従業員のストレスが減り、各生産ラインの状況も把握できるため、工場全体の効率化につながった。顧客から依頼された製品の開発状況も、タブレット端末で撮影して報告できるので、精度の高い情報の提供により信頼度が高まった。

インカムとの合わせ技でさらに生産性向上… 続きを読む